

復活祭の日付の一致のためのノベナ

2025年11月18日—26日

1日目

黙想

「決して祈りを止めてはならない。私を喜ばせ、心を込めて祈りなさい。一致のため、私の体の一致のために祈ってほしい。教皇と総主教のために祈ってほしい。すべての司祭のために祈ってほしい。ペトロの導きのもとにいない羊たちが、ペトロのもとに戻って和解するように祈りなさい。一人の羊飼いのもとに、一つの群れとなるように祈りなさい。あなたたちの間に平和、一致、そして、より大きな愛があるように祈りなさい。あなたたちが一つの聖櫃を囲んで私を賛美することができるように祈りなさい。一致しなさい、愛する者たちよ。一つになりなさい。父と私がついであり、同じであるように。あなたたち皆を祝福する」

（『神のうちの真のいのち』1989年1月17日）（*1）

祈り

主イエス・キリストよ、あなたはペトロの信仰という岩の上に教会を築かれ（*2）、御父とあなたが一つであるように、私たちも一つになるよう祈られました（*3）。あなたが尊い御血をもって贖われた、あなたの花嫁である教会を、今日、御覧ください（*4）。そして私たちの分裂の傷をいやしてください。あなたの聖霊が私たちを真理のうちに強め、揺らいでいるあなたの家（*5）を建て直し、あなたの栄光を回復してくださいますように。これをあなたに願います。あなたは御父と聖霊とともに、唯一の神として世々に生き、支配しておられる御方です。アーメン。

「イエスよ、
あなたの聖なる御顔を私たちに向け、ほほえみかけてください。
そうすれば私たちは再び生き返ります。
私たちの分裂は火のように私たちを焼き尽くしました。
あなたのみが奇跡を行うお方です。
私たちを一つにしてください。
人々が自分の愚かさを捨てますように。
あなたのご計画は、復活祭の日付を一致させることによって

私たちを一つにし、和解させることです。
私はあなたの聖なる助けを呼び求めます」
(ヴァスーラの祈り、『神のうちの真のいのち』1992年1月20日)

「彼らにこのように祈らせなさい。
『ああ主よ、
私たちの間に立っておられるお方、
私たちを導いてください。
あなたのぶどうの木の真ん中に
あなたの王座を据え、
私たちに命じてください。
ああ、至聖なる主よ、
あなたの家とぶどうの木を、完全なまま保つことができるように、
私たちを清めてください。
愛をもって介入し
あなたの右の手で植えられたものを守ってください。
私たちはあなたに背きましたが、
あなたのぶどうの木にいのちの川が流れ込み、
そこからもう一度枝が芽吹き、
実をつけて最良のぶどうとなり、
これまで以上に堂々としたものになるように、
あなたが門を大きく開いてくださると知っています。
そう信じ、信頼しています。
なぜならいのちの与え主である聖霊が
それを覆ってくださるからです』
アーメン」
(イエスの祈り、『神のうちの真のいのち』1992年12月21日)

2日目

黙想

「兄弟よ、くる年もくる年も耐えている痛みを、またこの季節も忍ばなければならないのか？ それともこのたびは休ませてくれるだろうか？ あなたたちの分裂の杯を、もう一度、この季節にも飲まねばならないのか？ それとも私の体を休息させ、復活祭の祭日を、私のために統一してくれるだろうか？ あなたたちが復活祭の日付を統一することによって、私の痛みは和らぐ。兄弟よ、そしてあなたたちは

私のうちに歓喜し、私はあなたたちのうちに歓ぶ。そして多くの視力が取り戻されるだろう……」

（『神のうちの真のいのち』1991年10月14日）

- ・主イエスへの祈り（教会の一致のため）
- ・ヴァスーラの祈り（1992年1月20日）
- ・イエスの祈り（1992年12月21日）

3日目

黙想

「一致のために働く者たちには、空を見上げるように言いなさい。空と地がどんなに離れているかを見たか？ 彼らの心はそれほど互いから遠く離れている。それほどまでに隔たっている。皆が復活祭を同じ日に祝うように、一致して定め、布告を発してくれるのはいつの日か？」

（『神のうちの真のいのち』1992年12月21日）

- ・主イエスへの祈り（教会の一致のため）
- ・ヴァスーラの祈り（1992年1月20日）
- ・イエスの祈り（1992年12月21日）

4日目

黙想

「私を愛しなさい。あなたの愛のゆえに、私は諸教会を呼び集め、復活祭の日付を一致させる。私を愛しなさい。あなたのために、この闇を、予見されたよりも早く光に置き換える。私があるから望む実りは、愛である！ あなたの愛によって、私は多くの祈りをかなえることができる」

（『神のうちの真のいのち』1994年4月19日）

- ・主イエスへの祈り（教会の一致のため）
- ・ヴァスーラの祈り（1992年1月20日）
- ・イエスの祈り（1992年12月21日）

5日目

黙想

「復活祭ごとに、私はあなたたちの分裂の杯を強いられ、飲まされている。だがあなたも、娘よ、その杯を飲むことになる。人間の手から渡された苦い杯を私と分かち合うであろう。彼らが復活祭の日付を一致させるまでに時間がたてばたつほど、この時代は厳しい裁きを受ける」

（『神のうちの真のいのち』 1994年5月31日）

- ・主イエスへの祈り（教会の一致のため）
- ・ヴァスーラの祈り（1992年1月20日）
- ・イエスの祈り（1992年12月21日）

6日目

黙想

「私の家の者たちが誠実さに欠け、復活祭の日付を一致させようと、私の霊のうちに働かないのを見て、私の心は絶えず憂う。御父が彼らの心を変えてくださるよう、この者たちのために祈ってほしい。私の聖霊によってひとたび目が開かれたなら、悔い改めて、真理を見る妨げとなった自分たちの誤りに気づき、真理から彼らを引き離しているこの傲慢の霊が立ち退き、正気を取り戻すよう、彼らのために祈ってほしい。『彼らが真に私の弟子だと、その愛によって、今やすべての人に知られよう』と私が言えるように、彼らのために祈ってほしい」

（『神のうちの真のいのち』 1996年11月27日）

- ・主イエスへの祈り（教会の一致のため）
- ・ヴァスーラの祈り（1992年1月20日）
- ・イエスの祈り（1992年12月21日）

7日目

黙想

「へりくだることによって、造り主の前に証しを立てなさい。復活祭の日付を一致させて、造り主の前に証しを立てなさい。パンをともに分け合って、私に証しを立てなさい。栄えある厳かな祭服を、宗教心と敬虔さの見せかけによらず、へりくだった心で身につけなさい」

（『神のうちの真のいのち』 1996年11月25日）

- ・主イエスへの祈り（教会の一致のため）
- ・ヴァスーラの祈り（1992年1月20日）
- ・イエスの祈り（1992年12月21日）

8日目

黙想

「ああ、あなたたちが一つの祭壇の周りに集まり、この同じ祭壇を囲んで私を賛美してくれるなら、どんなにうれしいだろうか。自分の過ちを認め、背いたことを悔い改め、あなたたちに対する私の愛を思い出し、私が愛したように、あなたたちも互いに愛し合うなら」

（『神のうちの真のいのち』1988年4月19日）

- ・主イエスへの祈り（教会の一致のため）
- ・ヴァスーラの祈り（1992年1月20日）
- ・イエスの祈り（1992年12月21日）

9日目

黙想

「私の心は、すべての羊飼いたちが一つの祭壇を囲んで集まってほしいという望みで燃えている。彼らが（……）私の群れの世話をするのを見たいという望みで燃えている。彼らが私の優しさと正しさを語り、私が教えてきたすべてを語るのを聞きたいという望みで燃えている。彼らが愛とあわれみをもって、私の民の世話をするのを見たいという望みで燃えている」

（『神のうちの真のいのち』2006年5月31日）

「心を開いて、私の恩寵の霊がなぜ、この世代にこれほどまでに豊かに注がれているのかを理解しようと努めなさい。すべての世代が、一人の羊飼いのもとに、一つの聖櫃を取り囲んで、一つとなる日が近づいている。主である私は、彼らにとって唯一の主となる。だから祈りなさい、愛する者たちよ、主である私が万全の準備をもって進めているこの一致のために祈りなさい」

（『神のうちの真のいのち』1989年6月19日）

- ・主イエスへの祈り（教会の一致のため）

- ・ ヴァスーラの祈り（1992年1月20日）
 - ・ イエスの祈り（1992年12月21日）
-

*1 『神のうちの真のいのち』のメッセージは、今日も有効に存続する教導権による公式な許可の標章、印刷許可と権威筋による承認を享受している。

*2 マタイ16・18—19

*3 ヨハネ17・20—21

*4 黙示録19・7

*5 『神のうちの真のいのち』 1992年5月1日